

輸送動向について(3月分)

平成17年4月

1. 輸送概況

今月は上旬に北関東・東北地方で大雪による輸送障害が発生した他、下旬には震度6弱を記録した福岡県西方沖地震が発生し、これらの影響で高速貨75本、専貨6本が運休した。一方、新潟県中越地震の影響で一部単線運転となっていた上越線は、3月25日に全面開通(4往復 9往復)したものの、この間の影響を含めて、月全体では高速貨161本、専貨88本が運休した。

荷動きについては、前月に続いて多少弱含みであった他、災害の影響もあり月全体では99.0%と前年を下回った。しかしながら3月1日に実施したダイヤ改正で、関東～九州間に新たに列車を増発する等、輸送力の増強を図ったこと、また年度末に臨時列車の運転を行ったこと等により、下旬には引越荷物をはじめ、各品目の発送が強勢となり、3月30日にはコンテナ発送個数で過去最高を記録した。(12ft換算で17,731個)

コンテナ貨物では、順調な発送が続く自動車部品及び飲料水の発送が好調であった食料工業品等が前年を上回ったものの、政府米が大幅に減送となった農産品をはじめ、化学工業品や積合わせ貨物等が前年を下回り、コンテナ全体では前年比98.0%となった。

車扱貨物では、セメント、紙パルプ等が前年を下回ったものの、気温が低めに推移し、灯油を中心として増送となった石油等が前年を上回り、車扱全体では前年比100.4%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,081	2,123	98.0%	21,982	22,016	99.8%
車扱	1,575	1,569	100.4%	15,086	15,861	95.1%
計	3,655	3,691	99.0%	37,068	37,877	97.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品	102	141	-39	72.3%
	生野菜青果物	69	76	-7	90.8%
	化学工業品	191	204	-13	93.6%
	化学薬品	155	148	7	104.7%
	食料工業品	298	290	8	102.8%
	紙パルプ等	315	313	2	100.6%
	他工業品	142	135	7	105.2%
	積合わせ貨物等	244	254	-10	96.1%
	自動車部品	54	45	9	120.0%
	エコ関連物資	47	45	2	104.4%
	その他	464	472	-8	98.3%
	コンテナ計	2,081	2,123	-42	98.0%
車扱	石油	1,037	986	51	105.2%
	セメント	128	174	-46	73.5%
	石灰石	63	58	4	107.5%
	車両	164	163	1	100.8%
	紙・パルプ	42	52	-11	79.8%
	化学工業品	52	55	-3	93.7%
	その他	89	80	9	111.9%
	車扱計	1,575	1,569	6	100.4%
合計	3,655	3,691	-36	99.0%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)